

日本コミュニケーション学会 (CAJ)

～2013 年度 中部支部大会プログラム～

日時：2013 年 12 月 14 日（土）12：55-20：00

場所：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス（地下鉄東山線「名古屋」駅より 19 分、「星ヶ丘」駅にて下車、（最寄りの 3 番出口が工事のため＊）4 番出口より地上へ。道路の反対側へ渡り、右斜め前「郵便局」の方へ向かう。徒歩 3 分。）

教室：13A（1 号館 3 階、エスカレーター降りて右前方すぐ）

会費：無料（懇親会は別途）

12：55-13：00 開会式

13：00-14：00 セッション 1：博士論文 発表

タイトル：“Culturally-bound communication competence that impact the quality of life of the terminally ill Japanese geriatric inpatients: a qualitative study.”

発表者：平田 亜紀 先生（中部大学）

内容紹介：「現場で必要とされるコミュニケーション能力とは何か」という問いからスタートした、医療従事者が重要視する〈気配り〉という一見抽象的で、しかし大変具体的に計画された行動について質的アプローチから明らかにした研究。

（提出先大学：Teachers College, Columbia University）

（休憩 15 分）

14：15-15：15 セッション 2：博士論文 発表

タイトル：“Influences of Stigma of Mental Illness on Computer-Mediated Communication”

発表者：今井 達也 先生（南山大学）

内容紹介：本研究は、Computer-Mediated Communication (CMC) 上での鬱病と統合失調症へのスティグマの影響を調査するものである。新しい理論的なモデルを構築し、どのようなプロセスで精神疾患へのスティグマが対人関係に影響するのかを検討した。

（提出先大学：University of Texas Austin）

（休憩 15 分）

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| Reminder： | 1) 中部支部 書評締切：1 月下旬（1 本ご協力お願いします） |
| | 2) 中部支部 NL 原稿：2 月末日 |
| | 3) CAJ ジャーナル投稿締切：1 月 31 日 |
| | 4) CAJ 年次大会（個人発表・パネル）申込み締切：2 月 20 日 |
| | 5) CAJ 年次大会@琉球大学：6 月 21, 22 日 |

15:30-17:10 セッション3: 基調講演¹

タイトル: 「市民社会とコミュニケーションの形式—ヨーロッパ社会のシティズンシップ教育の動向から—」

発表者: 椎野 信雄 先生 (文教大学)

内容紹介: 21世紀の市民社会論の特徴は「国家」と「市場経済」と「市民社会」の3元論に立っていることである。さらに20世紀後半からヨーロッパ社会統合の中心的役割を担っている「欧州評議会」は、1997年に「民主的シティズンシップ教育」推進を決議し、2005年に「教育を通じたシティズンシップ・ヨーロッパ年」を呼びかけた。こうした市民社会型シティズンシップ教育論を背景に、いわゆる討議デモクラシー (deliberative democracy) 論における「コミュニケーションの形式」に関する問題について報告する。

講演: 15:30-16:30
(休憩 10分)

質疑応答: 16:40-17:10

17:10-17:15 閉会式

・閉会の挨拶

(移動)

18:00-20:00 懇親会・今後の支部活動について意見交換 (続)

会場: 風来坊 星ヶ丘駅前店 ¥6000 (飲み放題付)
(予約の都合上、申し込みを11月末までに
福本 (afkmt アットマーク asu.aasa.ac.jp) までお願いします。)

*星ヶ丘駅 構内地図 (名古屋市交通局 HP)

http://www.kotsu.city.nagoya.jp/subway/stn_map/ha_map/hoshigaoka_map.html



¹ 本講演の助成は、日本コミュニケーション学会の支部活動費と科学研究費助成事業「シティズンシップ論へのコミュニケーション学的アプローチの模索」(研究代表・藤巻光浩) とによる